

【各試合の結果・詳細】

第1試合

RIVERSOUL岐阜 5 $\begin{pmatrix} 2 - 3 \\ 3 - 0 \end{pmatrix}$ 3 東海学院大学

勝点 6
2 勝 0 分 1 敗

勝点 0
0 勝 0 分 3 敗

<得点>

RS岐阜 : 15分#2百成、24分#16竹田、38分#15辻、54分#15辻、66分#16竹田
東海学院大 : 21分#8山部、30分#8山部、31分#8山部

<戦評>

東海学院大学のセンターパスにより試合が開始される。1分RIVERSOUL岐阜のPCはタッチシュートで先制点を狙うも、GKに阻まれ得点することができない。またも15分RIVERSOUL岐阜は、積極的なドリブルからPCを獲得すると#2百成が決め1-0とする。流れがRIVERSOUL岐阜に傾くかと思われた21分、東海学院大学#4紙坂が放ったシュートのリバウンドを#8山部が押し込み同点に追いつく。激しい攻防が続く中、24分RIVERSOUL岐阜の#16竹田がヒットシュートで確実に決めると2-1とする。追いつきたい東海学院大学は30分、右サイドからボールを繋ぎ#8山部がヒットシュートで決め同点に追いつく。勢いを増す東海学院大学は31分、#8山部は相手の隙を突きボールを奪うと、積極的なドリブルからシュートを決め2-3とし前半を折り返す。
後半開始38分、RIVERSOUL岐阜はPCのチャンスを得る。これを#15辻がタッチで決めると3-3と試合は振出に戻る。両チーム果敢に攻め上がる中、RIVERSOUL岐阜は54分#15辻がサークル内でボールを受け確実に決め4-5とする。続く66分にはPCを取得し#16竹田がリバウンドを押し込み、東海学院大学との点差を広げる。その後も激しい攻防が続くものの、得点は動かず試合は終了し5-3でRIVERSOUL岐阜が勝利する。

テクニカルオフィサー	中村康夫	
ジャッジ	大野隆司	鈴木靖弘
アンパイア	富山喜正	木下英貴
S. アンパイア	平尾 豊	近藤聡史

第2試合

天理大学 8 $\begin{pmatrix} 4 - 1 \\ 4 - 1 \end{pmatrix}$ 2 Selrio島根

勝点 6
2 勝 0 分 1 敗

勝点 3
1 勝 分 2 敗

<得点>

天理大 : 8分#12星、23分#15吉原、33分#4松村、34分#13清水、37分#6三谷
38分#12星、40分#2大野、49分#10小川

S島根 : 28分#14高橋、51分#13加納

<戦評>

天理大学のセンターパスにより試合が開始される。前半開始8分、天理大学がPCを獲得すると#12星が決め先制点を挙げる。一方、Selrio島根はPCのチャンスを得るものの、決めきることができない。激しい攻防が続く中、23分天理大学はGKのリバウンドを#15吉原が確実に押し込み2点目を挙げる。28分、PCのチャンスを得たSelrio島根は#14高橋が決め点差を縮める。33分天理大学は積極的なプレーでPCを獲得すると#4松村が決め勢いを増す。続けて34分、#13清水がタッチシュートでゴールネットを揺らすと4-1と、Selrio島根を突き放し前半を折り返す。
後半開始早々から波に乗る天理大学は、37分#6三谷、38分#12星がFGで追加点を得る。40分にはPCを獲得し#2大野の得意なフリックが決まり7-1とする。続いて49分にも#10小川がFGを決めその差をさらに広げる。反撃に出たいSelrio島根は、51分PCのチャンスをもつが#13加納が確実に決める。これで試合は終了し8-2で天理大学が勝利する。

テクニカルオフィサー	名取英生	
ジャッジ	北島 学	馬場治男
アンパイア	戸塚洋介	渡邊道彦
S. アンパイア	我妻順子	宮川敏充

第3試合

立命館大学 2 $\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 1 - 0 \end{pmatrix}$ 0 箕島ホッケークラブ

勝点 9
3 勝 0 分 0 敗

勝点 3
1 勝 0 分 2 敗

<得点>

立命館大 : 24分#28田中、68分#1藤吉

箕島 :

<戦評>

箕島ホッケークラブのセンターパスにより試合が開始される。試合開始早々から激しい攻防が展開されるものの、両チームDF陣の堅守により先制点を得ることができない。24分チャンスがきたのは立命館大学、サークル内リバウンドを#28田中が押し込み1-0とする。反撃に出たい箕島ホッケークラブは相手陣内へ攻め込むが、得点に繋ぐことができず、1-0で立命館大学がリードのまま前半を折り返す。

後半、追いつきたい箕島ホッケークラブは積極的なプレーで猛攻を仕掛けるものの、立命館大学の堅いDFに阻まれチャンスをもたせることができない。一方、立命館大学も速い試合展開で箕島ホッケークラブからPCのチャンスを得るが決めきることができない。試合が動いたのは68分、立命館大学はサークル内に放たれたボールを#1藤吉がタッチで合わせ追加点を得る。そのまま試合は終了し、2-0で立命館大学が勝利する。

テクニカルオフィサー	中村康夫	
ジャッジ	大野隆司	鈴木靖弘
アンパイア	近藤聡史	成田健一
S. アンパイア	平尾 豊	富山喜正

第4試合

名古屋フラーテルホッケーチーム 7 $\begin{pmatrix} 4 - 0 \\ 3 - 0 \end{pmatrix}$ 0 東京農業大学

勝点 9
3 勝 0 分 0 敗

勝点 0
0 勝 0 分 3 敗

<得点>

名古屋F : 8分#14長澤、10分#13山下、12分#7猿養、18分#15柴田

38分#13山下、48分#12坪内、68分#13山下

東農大 :

<戦評>

東京農業大学のセンターパスにより試合が開始される。開始早々からスピードある試合が展開される中、8分名古屋フラーテルはPCのチャンスを得ると#14長澤が決め先制する。同じく名古屋フラーテルは10分に#13山下、12分#7猿養が得点し点差を広げる。一方、東農大も積極的に攻め上がるものの、得点に繋ぐことができない。激しい攻防の中、18分#15柴田がFGを決め、前半を4-0で折り返す。

後半勢いを増す、名古屋フラーテルは38分#13山下がFG決め5-0とする。東農大FW陣も負けじと攻め上がるものの、名古屋フラーテルDF陣の堅守により阻まれる。48分名古屋フラーテルはPCのリバウンドを#12坪内が決めさらに点差を広げる。後半終了間際68分名古屋フラーテル#13山下が7点目を決め、試合は終了し7-0で名古屋フラーテルが勝利する。

テクニカルオフィサー	名取英生	
ジャッジ	北島 学	馬場治男
アンパイア	宮川敏充	児玉茂樹
S. アンパイア	我妻順子	戸塚洋介